



茅ヶ崎市記者発表資料
2026年10月20日
教育推進部図書館 館長 根岸恵子
電話 0467(87)1001

～官民連携 10 年の成果の結実～

「本がだいすきプロジェクト」が「Biblio battle of the Year 2026」 特別賞を受賞！

平成 28 年(2016 年)に市立図書館と地元書店・NPO 団体が一体となって始動した「本がだいすきプロジェクト」が、「Biblio battle of the Year 2026 特別賞ちがさき地域交流推進賞」を受賞いたしました。

■ 受賞概要

受賞名: Biblio battle of the Year 2026 特別賞ちがさき地域交流推進賞

実施者: ビブリオバトル普及委員会

受賞対象: 本がだいすきプロジェクト

受賞理由: 地域や世代をつなぐための交流の場を提供しており、地域の個人や団体によるビブリオバトルが 2016 年から継続的に開催されている。2025 年には、近隣の書店などと連携し、子どもから大人まで幅広い世代の人々が参加できるビブリオバトルイベントを開催した。継続的な活動と、地域の人々の交流にビブリオバトルを活用している点が高く評価された。



【Bibliobattle of the Year 2026 受賞者一覧ページ URL】

<https://bibliobattle-award2026.mystrikingly.com/2026>



【本件のポイント】

① 官民連携の10年越しの成果

平成28年の「本がだいすきプロジェクト」始動から地道に行ってきた読書推進の取り組みが、全国規模の栄誉ある賞をはじめて受賞。

② 読書週間に合わせてビブリオバトルを3日連続開催

2025年11月に、これまで培ってきたプロジェクトの総力を結集し、長谷川書店、茅ヶ崎市立図書館、ハマミーナ図書室の3会場にて「ビブリオバトル1・2・3」を3日間連続で開催した。

③ 多世代の交流と継続性

プロジェクトメンバーでもあるまちづくりスポット茅ヶ崎や長谷川書店が市内で継続して実施してきたビブリオバトルにより、本を介して生み出される老若男女、世代を超えた「人のつながり」が定着。

■ビブリオバトルとは？

ビブリオバトルは、誰でも開催できる本の紹介コミュニケーションゲームです。

「人を通して本を知る。本を通して人を知る」をキャッチコピーに全国に広がり、小中高校、大学、一般企業の研修・勉強会、図書館、書店、サークル、カフェ、家族の団欒などで、広く活用されています！

※「ビブリオバトル」は、ビブリオバトル普及委員会が管理を行っている登録商標です

■「Biblio battle of the Year」とは

全国に広がるビブリオバトルに関わるユニークな活動を発見し、それらの活動を多くの人に周知することで、各地の活動をさらに盛り上げていくことを目的に「Biblio battle of the Year(ビブリオバトル・オブ・ザ・イヤー)」という賞ビブリオバトル普及委員会により2016年に創設されました。

■本がだいすきプロジェクトとは

特定非営利法人まちづくりスポット茅ヶ崎、有限会社長谷川書店、有限会社川上書店および茅ヶ崎市立図書館が、地域に根ざしたそれぞれの立場から、「全ての市民が本を好きになってほしい」という思いを形にするとともに、お互いに協力し合える環境づくりに向けて2016年にプロジェクトを立ち上げました。